

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブル 北野田校			
○保護者評価実施期間	R6年 8月 1日 ～ R6年 9月 5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数)	23人
○従業者評価実施期間	R6年 8月 1日 ～ R6年 9月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 9月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習特化型の支援	学習に特化したプログラムを提供し、児童が自ら学ぶ力を育むことに重点を置いています。学習時間と休憩時間を明確に区分する時間割制を導入し、集中力を高めると同時に、適切なリフレッシュを促します。	児童が学んだことや作成した作品を「ミニ展示会」で発表します。場所は既存のスペースを活用し、保護者を招待する形式で行います。 成果を共有することで児童のモチベーションが向上し、保護者とのコミュニケーションも深まることが期待できます。
2	自主通所の推奨とサポート	児童が自らの意志で通所できるよう支援し、その過程で自立心を養います。また、自主通所をサポートするためのサポート体制も整えており、安心して通える環境を提供しています。	自主通所に関するよくある質問とその回答をまとめたFAQを作成し、児童や保護者に提供します。 よくある疑問や問題に対する解決策を事前に提供することで、新規の方にも通所がよりスムーズに行えるようになることが期待できます。
3	調理や工作、PCスキルのイベント	調理イベントでは、児童が一人で全ての工程を行うことで、責任感と達成感を育成します。PCスキルのイベントでは、パワーポイントでのプレゼンやScratchを使ったプログラミングに挑戦し、論理的思考や表現力を伸ばします。これらの学習データは持ち帰りが可能で、家庭での復習や保護者との共有も容易です。	児童が自分の興味や学びをクラスメートにシェアする時間を設け、簡単なプレゼンテーションや実演を通じて、他の児童に教える機会を提供します。 期待効果としては、自己表現力や説明能力が向上し、他者との情報共有のスキルが養われると考えられます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様とのコミュニケーション	保護者様とのコミュニケーションは密に行っていますが、様々な連絡手段（電話、SNSなど）の利用によって、情報の漏れや混乱が生じる可能性があります。	短いアンケートを定期的に配布し、保護者様の意見を伺いたいと考えています。
2	個別対応の難しさ	コミュニケーションスキルを高めるため、休憩時間を児童同士で統一する一方で、時間割制を導入していると、児童一人ひとりの個別のリズムやニーズに応じた柔軟な対応が難しくなります。これにより、集中力が続かない児童や特定の活動に興味がある児童には不適切な時間配分になる可能性があります。	児童と定期的に個別面談を行い、進捗やニーズを把握します。 簡単なタスク管理ツールを作成し、児童が自分の学習スケジュールを管理できるようにしたいと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 マーブル北野田校

公表日 R6年10月28日

利用児童数 R6年9月5日

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		2		配置すべき職員数は満たしていますが、集団活動に伴い、状況に合わせた臨機応変な対応を心がけています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			4		活動と休憩のメリハリをつけるように空間を分け、環境を整えています。必要な場面は視覚カードも使用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22			1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1		平日は毎々に合わせた学びをメインに活動し、学校休業日は季節に合わせたスケジュールを話し合いプログラムの更新や工夫に努めています。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	1	10	他の利用者の方々との活動は、事業所でさせて頂いております。	不定期ですが、同グループ内のデイと交流会のイベントを実施したり、外出イベントの際は社会体験等、マナー学習にも取り組んでいます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20			3		保護者の皆様へ、更に情報提供ができるように改善に努めて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22			1		個別支援計画の更新以外にも随時面談は行っております。いつでもご連絡お待ちしております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				いつも感謝しております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	3	10		親子イベントなどを通して、保護者同士の交流の機会を作っていく予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			1		ご家族様のご要望に応じて、順次面談の機会や育児に対する相談の機会を設けています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1			行事予定等は毎月イベントカレンダーを配布したり、InstagramやLINEを通してお知らせしています。自己評価の結果はホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		5	各マニュアルを策定し、ご希望される方には閲覧していただけるように整備しております。また、想定した訓練も取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		6	スケジュールに組み込んでおります。お子様にも定期的に取り組める活動を伝えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		2	再度、周知徹底できるように努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		2	保護者の方から苦情やご意見を頂いた際には、マニュアルに従って当事者への説明・改善報告、苦情報告への記録をし、事業所内で問題共有しております。個人情報保護の為、当事者以外の方への報告はしておりません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	4			いつも利用日に嬉しそうに出かけていく姿を見て安心しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				保護者のニーズだけでなく、指導してくださる先生方からも積極的にご支援いただき、有難いです。療育や支援に関する知識向上に努め、お子様や保護者様が安心して信頼して頂ける場所になるように取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
マーブル 北野田校		R6 年 10月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		同じ空間に密集しないようにスケジュールを設定しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		パーティション等でそれぞれのスペースを見て分かるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		チェック表を作成し、1日の終わり、若しくは次の日の朝に清掃しています。	学習用机・椅子の不足を感じる為、追加を検討しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて、パーティションで区切りをし、環境を整備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		出勤日の少ないパートスタッフには、PDCAサイクルには参画できていないことが多い為、漏れのない伝達の徹底を検討していきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		常に空き時間での会議や情報の共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		今後、外部評価を検討していきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内での研修は充実しています。	事業所単位での研修も増やしたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	事業所チラシに支援内容をの掲載し、ホームページ等で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		必ず、複数のスタッフの意見を基に作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		朝礼などで、児童の支援に対する理解を深めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々の支援に関してもお子様の状況にもあわせて臨機応変な対応を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		回覧ノートを設置し、共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保護者様のニーズを整理し、児童に合わせた課題の目標を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		学習内容は、適宜会議をして見直しを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		イベント活動を不定期に開催しています。参加できなかった児童にも別日に実施できるように調整しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		その日の担当を決めて取り組んでいる。 また、支援が固定化しないように順次交代しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			充分な時間の確保はできていない為、業務の効率化で時間を見つけていきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動記録として、その日の支援内容を各担当が細かく明記しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		更に地域交流の機会を増やしていきたいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		1日の学習スケジュールを自ら記入してもらっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達管理責任者と支援スタッフが参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校より定期的にメールを送っていただいております。保護者様も再確認の為に予定表に書き込んで下さっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		中高生メインの為、該当者がいません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		書面でもお渡しできるように準備していきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		事業所主催のイベントのような形では交流を持ててないが、今後は検討していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		現場職員が参加する機会を設けられるよう検討したいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様迎えの際は、必ず1日の様子を伝え、他（電話、SNS）での連絡は蜜にしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	イベント等で児童が使用した工程表等、必要な方へお渡ししています。	個別対応はおこなっているが、事業所全体での勉強会などがない為、今後実施できるように検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、その他質問があれば、項目に合わせて対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者との面談や子どもとの面談を実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者の思いとお子さんの姿から、芽生えや興味のあることを取り入れながら、計画書を作成しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		その日の申し送りや面談で助言や支援を実施しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		開催ができておりません。 今後は、参観日や保護者様参加型のイベントも検討したいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			その日のうちに原因の把握を行い、改善案を出し、周知を徹底していきたいです。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月イベントカレンダーとグループの情報通信を配布。Instagramでは活動内容の発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡帳だけでは伝えきれないこともある為、お手紙や電話連絡を必要に合わせて行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		開催はできていないので、今後、検討していきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを作成し、まとめてファイリングしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		風水災害、地震、火災、不審者対応の訓練を計画的におこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認をしていますが、初回利用日にはフェイスシートにより、詳しく確認と周知をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	対象者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、スタッフで共通理解をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			現段階では、まだ周知までできておりません。今後、早急に対応します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		報告書の確認は全てのスタッフが、サインをしている。また、同じことを繰り返さない方法の共通理解も伝達、共有ノートで周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置し、研修も含めて必要な支援の話し合いをしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		文書により通知した上で保護者様の了解を得て行うようにします。	